

科名 血液内科

対象疾患名 再発・難治性の多発性骨髄腫

プロトコール名 <ダラキューロ>DRd1-2クール目

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	8	9	...	15	16	...	22	23	...	28
1	皮下注		ダラキューロ	15mL/body	3-5分かけて 投与開始1-3時間前に前投薬を内服	↓			↓			↓			↓			
2	経口		レナリドミド	25mg/body		d1 ~ d21												
3	経口		デキサメサゾン	20mg/body	ダラキューロ投与開始1-3時間前	↓			↓			↓			↓			
4	経口		デキサメサゾン	20mg/body			↓			↓			↓				↓	

★1クール=28日

~MEMO~

催吐リスク2(10%以上30%未満)

<レナリドミド>21日間内服し、7日間休薬。

<デキサメサゾン>総投与量として、週40mg/bodyを投与。

75歳を超える、又は過少体重(BMI:18.5kg/m²未満)の患者にはデキサメサゾン20mg/週で投与してもよく、ダラキューロ投与前に投与する。

<ダラキューロ>

初回投与前に不規則抗体の測定を行うこと

慢性閉塞性肺疾患若しくは気管支喘息のある患者又はそれらの既往歴のある患者には、本剤の投与後処置として気管支拡張薬及び吸入ステロイド薬の投与を考慮。

《infusion reaction対策》

・infusion reaction軽減のため、ダラキューロ投与1-3時間前に解熱鎮痛剤および抗ヒスタミン剤を投与すること。